

第113号

発行日 2023年5月7日
発行責任者 鳴原 久
編集・印刷 齋藤 馨

大旦町会総会 集合方式で開催

新型コロナウイルス感染後初の開催

コロナ感染により書面方式を採用してきた総会を、今回は集合方式で開催しました。しかし、まだ油断できないことから、集会所に密の状態を全代議員が集まることを避け、二月十二日、もちずり学習センターの大ホールで開催しました。

感染防止対策として入り口での消毒と体温測定、ホールでは一テーブル二名とし、更にテーブル間を空け、議長席や演壇には飛散防止の亚克力ル板を設置しました。

議長に第二班の伊東孝さんを選出し、議事に入りました。



【「会長挨拶」を行う鳴原久町会長】

鳴原町会長から、ゴミSTのネット修理や花壇整備に棄が無く、な環境整備に取組んだこと、町会活動紹介をweb上で公開できるように、高齢者の避難救助の取組みと、訓練を実施



【ご来賓の萩原市議会議員】



【ご来賓の加藤東部支所長】

したことが報告されました。また、今年度はお祭り等を開催し、町会の活気を取り戻そうと呼び掛けました。来賓あいさつでは加藤東部支所長から、災害時の安否確認は他町会の模範となる。組織力のある大旦町会の活動に期待したいとの挨拶がありました。

した。続いて萩原市議会議員からは、旧保原街道の道路改良工事や下水道工事の現況報告がありました。議長席横では特別町会員の「青い目の人形」が総会に参加し、第三班の齋藤敏正さんから人形の由来について説明がありました。各担当部長から事業報告及び収支決算報告があり、全会一致で承認されました。代議員から保原街道改良工事に関し「車が歩道に入る恐れがあり、ブロック撤去は反って危険ではないか」との意見がありました。これに対して町会長から「カラー舗装と点字ブロックが埋め込まれる。縁石があるのは車には良いが、歩行者、自転車の側から判断するとなかなか良いとの判断になった。今後歩行者を守る何らかの手立てを行政当局に働きかけていきたい」と答弁がありました。集会所建設特別会計について質問があり、築七十年を超えた集会所の建築についての現時点での建設計画を説明し、積立金を継続する承認を得ました。また、その他の事業計画案についても承認されました。

新班長と役員との合同会議開く

総会の決定を受けた新年度の事業を推進するため、二月二十六日、新しい班長さんと役員との合同役員会を開きました。①町会費の徴収、②各種資料の配布、③市民交通災害共済の取りまとめ、④市政だよりの月末配布、⑤回覧文書等の定期配布日を毎月六日と十六日とすること等について話し合いました。今年一年間宜しくお願ひします。



「ゴミST」のネット修理

三月六日、第八班の会員からの連絡を受け、衛生部はネットの破れている部分を修理しました。この他二十二班付近の修理も行いました。今後点検を行っていきませんが、皆さんも気が付いた場合は町会にこの一報ください。



新育成部長紹介

今年度の育成部長には、第二十三班の阿部剛宗さんが就きました。皆様の温かいご支援・ご協力を宜しくお願いします。



「さくら会」の総会開く 集合方式で

さくら会では四月二十日、コロナ感染後初めて集合方式で総会を開きました。

議長には第六班の尾形賢治さんを選出し、事業報告と収支決算報告、事業計画(案)と収支予算(案)は、全会一致で承認されました。

事業計画では、会員が楽しんで参加できるように、ゲーム等を意識的に取り入れていく事などを決めました。

今総会では特に、会員が減少傾向にあり、新規会員を増やす取り組みが大事であることが提起されました。ちなみに現在の会員数は、男性二十九名、女性三十二名の計六十一名です。

加入資格は六十歳以上で、毎月初めに一回の例会を開きます。年会費は千五百円です。あなたも是非加入され、仲間と一緒に生活に変化を求めてみませんか。

いつもお掃除有難うございます

第十二班の三浦恵介さんご夫婦は、休日に愛宕神社境内とその周辺を掃除して下さっています。町内環境の整備に大いに協力いただいているこ

と、心から感謝申し上げます。町会としても住みよい環境づくりに取り組んで参りますので、今後とも宜しくお願い致します。有難うございます。



【議案を提案する鴻野副会長】

★ 中学校でも頑張ってるね

★ 六年生を送る会

育成部では三月十二日、六年生を送る会を開き、六年生十二名の内五名が参加し、これまでお世話になった下級生がお礼の言葉を贈りました。卒業生から下級生に対しては、勉強や友達関係も難しくなるが、頑張ってお礼の言葉を贈ってくださいと激励の言葉が贈られました。大槻副町会長からは「数学も英語も難しくなるし、科目



【漢字を書いた石を納めた五人】

も増えてくる。やるのが沢山あるけど、余り抱え込まず、一つひとつ片付けてください」と挨拶がありました。全員で二階にある歴史館を見学し、齋藤敏正さんから説



【僕は「良」と書いたよ】

明を受け、卒業生の五名は、大きな石に自分の好きな漢字を一字を、経塚の大きな樺の根

コラム

「恥ずかしい・・・」と娘が



毎日通学路に立っていると、黄色がまぶしい帽子とランドセルカバ姿のピカピカの一年生が元気よく通り過ぎて行く。きちんと挨拶する子ども、はにかみながら小さな声で挨拶する子ども、私の顔は見るが、そのまま通り過ぎる子どもと様々な様子やしくさが可愛らしい。こんな姿を見てみると、自分の娘の一年生の時を懐かしく思い出す。バスで買い物に福島と一緒に出かけた時の事。昨日までつないでいた手を、もうつながらないと言われた。恥ずかしさを覚えたのか、父親としてはちょっとびり寂しい気持ちになった。

「こんな顔してたんだ

先日の見守り活動で、そろそろマスクも要らないかなと考え、マスクなしで通学路に立った。するとどうでしょう、子ども達一人ひとりが珍しいものでも見るように、私の顔をまじまじと見つめながら通って行く。そう言えは私がマスクを付けていない素顔を、皆さんはまだ見たことがないんだ。思わず自分で笑ってしまった。素顔を見て意外なおじいちゃん顔に「こんな顔してたんだ」とびくりしていたのかも知れません。

もっ少しコロナ感染の恐れがなくなるまで付けていることにしようかな。

【齋藤 馨】